

幼稚園の自己評価についてのご報告

2015年3月

学校法人有朋学園 かえで幼稚園

1. 本園の教育目標

幼児の成長の基礎となる主体的な遊びが十分にできる物的、人的、時間的環境を保障し、遊びを通して様々な物や事や人との関わりに興味をもち、探索し思考する過程を大切にする教育を目指している。また、幼児期にふさわしい生活が展開されるよう、教師との信頼関係に支えられた生活、心情や意欲に基づいた直接的な体験が得られる生活、なかまと十分にかかわり、互いの良さを認め合って展開する生活が実現するように援助していく教育を目指している。

2. 2014年度に重点的に取り組んだ目標および計画

- ・ 「子ども・子育て支援新制度」が施行される中、幼稚園教育本来のあり方を見つめ直し、当園がどのような教育を目指しているのかを、具体的な事例を検討しながら教職員が共通理解をはかり、保育の質を高める。
- ・ 特に幼児の観察と保育者の振り返りに重点を置き、確実にでいねいな保育ができていのかどうかを検証していく。
- ・ 保育の内容を保護者などにもていねいに伝え、理解を深めていただくよう努力する。
- ・ より安全で快適、かつ教育的な環境を実現するため、施設設備の改善を進める。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
幼稚園教育のあり方を確認し、保育の質を高める。	子どもの育ちなどについて、具体的な事例やテーマをあげての話し合いや園内研修などを重ねている。
幼児の観察と保育者の振り返りから、ていねいな保育をめざす。	職員全体がチームとして機能するよう、日々の子どもの姿について話し合う機会や振り返る機会をもつようにしている。その際、自由に意見が表明できる環境をつくっている。
保育の内容を保護者などにていねいに伝えていく。	園だより、クラスだより、ホームページなどの充実を図るとともに、連絡帳、電話、面談など、ケースに応じた適切な方法でコミュニケーションがとれるよう努力している。
安全、快適で子どもの育ちにとって意味ある保育環境作りをすすめる。	幼児の様子を常に観察し、屋内外の施設、設備の更新も計画的に行っている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、全教職員が共通に理解し、それぞれ自己評価し、意見を述べ合うことを通して、本園としての方針を明確にすることができ、それを各自の実践に生かしたり、チームとしての機能を高めることができた。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
安全性の向上	固定遊具の老朽化が進んでいるので、引き続き随時更新していきたい。また、安全な遊び方についての的確な指導法や、職員の適正な配置などについてさらに検討していきたい。
一人ひとりに応じた保育	園児一人ひとりだけでなく、保護者の多様な事情に応じられる保育体制の作り方を、いわゆる「新制度」への対応と合わせて検討したい。
保育技術の継承	ベテラン保育者から若手保育者に、保育のスキルが自然に伝わるような機会を意識して作っていきたい。
自己評価	園の質的向上につながるような自己評価のあり方を、さらに検討していきたい。

6. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。